

# ニュースレター No.14

発行：2002年1月

## ◆ついに入間町崖線樹林地の保全作業が始まりました！

### 入間崖線物語 第一話（タヌキもびっくり！管理作業初日）

目覚し時計の音で飛び起き、一目散に現地に自転車を走らせた。入間・樹林の会が活動を始めて約1年、待ちに待った樹林地の管理作業の初日だ。私の名前はひみつ。

12月6日(日)快晴。9時半に入間町地域福祉センターに集合。総勢25名。ただならぬ雰囲気だ。午前10時、いよいよ作業の開始。勇んで樹林の中に踏み込んだけど、最初は放置ゴミの撤去作業から。手入れ作業の下準備と考えればたやすいこと。洗濯機に自転車のタイヤのホイールに、以前立っていた小屋のトタンがザックザク。

この日のために購入した鋸（ノコギリ）を手にした私は、もちろん落ち葉掃き班ではなく、下草刈り班だ。目的の木はアオキにシュロにシロダモ。えっ～シロダモってどんな木だっけ。とりあえず通り道を邪魔するでっかいアオキからだ！バサー、あれっ、何だか明るくなったみたい。気のせいかな。バサッ、バサッ。やっぱり木漏れ日が差し込んでるんだ。落ち葉の上には汗がポタリ。なんか生きてるって感じ。

あっという間に午前11時、作業終了の合図。途中やめになったマテバシイの大木の伐採は次回の楽しみにとっておこう。

残りの時間は、ちょっとお勉強。明治大学農学部須田さん(学生)から、「入間町崖線樹林における埋土種子と植生との関係」の研究発表していただきました。この成果を生かすのも今後の活動次第といえるでしょう。

今期の管理作業は、次回（1月27日(日)）で終りになりません。皆さんも是非ご参加ください。その際には伐採する木の活用方法も考えてくださいね。来期の活動計画も一緒に考えよう！

## ●ちょうふの自然

落葉樹の葉も散り、柿の実もそろそろ鳥たちに食べられる。一番最後に残るのは渋柿で、つるし柿にする「つるっ子」と呼んでいる。見ていると、メジロ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、カラスなどであり、三日もすると食べ尽くす。

話題は変わるが、国領の品川道沿いにはケヤキの屋敷林が少し残っている。一本のエノキに数株の“ヤドリギ”が寄生しているのが見られる。ヤドリギの木の実をキレンジャクという鳥が好んで食べ、近くのケヤキやエノキに増やしていると思われる。近所に禅寺丸(柿)、クヌギ、イチョウ、ヒロハナヤブツバキ、ワサビ田の跡、羽毛(ハケ)伝いに歩き、子供のころの昔話を交えて、自然に関心のある方々にご案内をできたらと思っている。(エノモト)

※「ちょうふの自然」は、調布の自然を調べている環境モニター紀行文です。

エノキ、現在は雪で折れて小ぶりとなっている。(平成4年撮影)



①保全作業前です。アオキやシュロのヤブになっています。冬なのに葉っぱが繁っています。



②たくさんのごみをみんなで拾いました。



③アオキやシュロといった小さな常緑樹を伐採しました。



④すっきりした林内にはやわらかい陽射しがさし込んできました。



### 一 内 容

入間町樹林地の保全作業

調布市内の活動報告

連絡会議議事要旨

イベント情報

## 調布市内での活動報告！

### 環境モニター活動

冬の調布の自然調べの調査対象を「イイギリ、ヤドリギ、スギ、マツ、ヤツデ」として、調査を実施することになりました。見つけやすいもの、調布にはなかなかないものなどありますが、対象樹木を見かけたら、ぜひ情報をお寄せください。調査票は市役所3F環境部環境保全課においてあります。なお、今回の調査は2月末までとします。また、野鳥の調査を1月14日(月・祝)に深大寺自然広場～箕和田橋で行います(イベント情報欄参照)。

環境モニター連絡会では、秋の野草調査(ツルボ、キツネノカミソリ、ヒガンバナ、セイタカアワダチソウ)のまとめ方について検討を進めています。大きな地図に分布をまとめ、ちょうふ環境市民懇談会の全体会(2月23日)や環境フェア(6月)などに展示することが話し合われています。

環境モニターは、これらの活動を通して調布の自然を保全・改善・回復して行く活動を行っています。

### 雑木林塾(連続講座)

12月2日(日)第2回講座 調布駅から寄り道をしながら現地(どんぐり林公園)へ。落葉樹の多い明るい感じの林。観察後の話し合いで、堅い地面や高くなりすぎた木などの課題も。

12月22日(土)第3回講座 午前中、里山についての講義を受け、午後は現地での「落ち葉だめ」づくり。4畳半程の美的なものが完成。落ち葉の踏み固めに子供たちのうれしい協力がありました。

### こどもエコクラブ

11月10日雨のため中止となった多摩川の野鳥観察は、日本野鳥の会東京支部のご好意により、快晴に恵まれた12月9日に改めて実施されました。ただ、今年は台風による大雨の影響で川の様子が変わったためか、水鳥の種類、総数とも少なかったのが残念でした。次回は2月24日(日)です。

### 野川・里山探検隊

12月23日(日)春の七草のよせ席植え作りをしました。まずは竹を使ってよせ植え用の鉢作りに挑戦。ノコギリを使って節の上下で切り落とし、ナタで2つに割って各自好みの大きさの鉢を作製。春の七草についての説明を聞いた後、七草探しに出発。スズナ、スズシロは畑から分けていただき、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザは落ち葉をかき分けて探しました。最後は自作の鉢への植え込みです。説明を聞きながら1本1本ていねいに植え込み、ようやく完成。いかかですか？



### ちょうふ DE 田んぼ日記その8「厳粛に修了式」

12月2日(日)かに山での堆肥用落ち葉拾いを最後に2001年度「田んぼの学校」の既定授業が終了した。当日落ち葉拾いに引き続き、紅葉のきれいな農場で修了式を挙行し、厳粛な中、生徒全員に終了証が手渡されました。修了式の後は、1品持ち寄りによる懇親会となり、この1年をみんなで振り返りました。お米の収穫は、例年並になりましたが、生徒の親子にとっては、たいへん多い年になったのではないかと思います。私たちスタッフにとっても、来年以降の「田んぼの学校」継続に向けて自信になった年でした。私たちの心に多くの贈り物をくれた、田んぼの生きもの達に感謝！！ その生きもの達をささえている湧き水に感謝！！ その湧き水をささえている地域の水循環に感謝！！(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)



# 第 14 回 連絡会議 議事要旨

## ●第 14 回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② これまでの作業経過の振り返り
- ③ 全体会のプログラムについて
- ④ その他

日 時 平成 13 年 12 月 19 日 (水)

18:30~19:45

場 所 調布市役所 6F 図書教養室

出席者 11 名

## ◆連絡会議で話し合われた内容は…

### 1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。(どなたでも参加できます。)

### 2. これまでの作業経過の振り返り

#### (1) これまでの経過

ちょうふ環境市民懇談会の全体会への提案づくりとして 8 月 16 日より、連絡会議で課題抽出やその整理を行っている。また、10 月 28 日に未来の調布の自然をさぐるワークショップを開催し、調布のよいところ、好きなところや改善して行きたいことについて話し合った。

これらの意見をふまえ、2 月 23 日の全体会に向けて提案づくりやプログラムづくりを検討していく。

#### (2) 作業のふりかえり

これまで行ってきた作業をふりかえた。

- ・8月16日・・・調布の自然の「いいところ」と「悪いところ」を付せんを書いてグループ分け(KJ法)を実施。自然全般や生き物、地形、湧水、まちづくりなど12のグループに分けた。
- ・9月19日・・・10月28日に行われた「未来の調布の自然をさぐるワークショップ(以下、WS)」のプログラムを検討し、連絡会議の意見整理の方法について話し合った。
- ・10月4日・・・臨時連絡会議を開催。12のグループに対して、現在の様子を整理し、今後「進めて行きたい方向」やそのための「課題」について提案。それぞれ、意見を付せんを書いて模造紙に貼っていった。
- ・10月18日・・・WSのプログラムについて検討した。
- ・10月28日・・・WSを開催。調布を2つの地域(北東・南西)に分け、調布のいいところ、悪いところを話し合った。
- ・11月15日・・・WSの意見をふりかえり、今後の意見整理の方法について話し合った。
- ・12月6日・・・これまでの意見整理の作業日として、連絡会議で出された意見、WSで出された意見を付せんにして、全ての意見を整理した。

### 3. 全体会のプログラムについて

- ・全体会で考えられるプログラムとして事務局から4つの提案を行った。  
①話題提供として、調布の自然に関係している活動の紹介や講演/②ちょうふ環境市民懇談会のしくみと取り組みの紹介/③意見交換として、パネルディスカッションやワークショップ/④全体会をふりかえったまとめ、今後の調布の環境保全に向けた提案。
- ・意見として、話題提供は、これまで行っている活動をスライド(パワーポイント)で紹介することが提案された。
- ・詳細については、次回臨時連絡会議にて決定する。

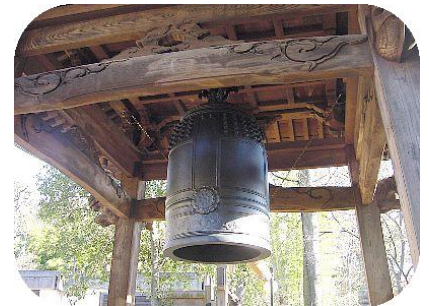
### 4. その他

- ・プロジェクト等に関わる会議の日程

日 時	場 所	活動名(主な内容)
1月7日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター世話人会 14日の野鳥調査に向けた勉強や 秋の調査のまとめ方について検討
1月9日(月) 18:30~20:30	市役所8階 第8会議室	雑木林塾 運営会議 次回以降の連続講座の内容や来年 度の企画について検討
1月10日(木) 18:30~20:30	市役所6階 図書教養室	環境市民懇談会 作業日 全体会のプログラムやこれまで話 し合ってきた意見の扱い、今後の作 業スケジュールについて検討
1月14日(月・祝) 13:00~	野草園前	環境モニター 野鳥調査 かじ山~野川の野鳥を調査。終了後 連絡会を兼ねた新年会を実施
1月18日(金) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	人間・樹林の会 世話人会 次回の保全活動の内容や、来期の活 動計画を検討
1月20日(日) 10:00~16:00	たづくり 1002 学習室	第4回雑木林塾 連続講座 生態学からみた自然や雑木林の生 き物についての学習
1月24日(木) 18:30~20:30	市役所6階 第5会議室	環境市民懇談会 連絡会議 活動の情報交換や全体会に向けた 意見整理を実施

## 絵っせい：窓からの風景

早いもので今年も過去の年になろうとしています。年内に皆様のお手元にニュースレターが届いていることを期待していますが、どうでしょうか。さて、私の住まいは深大寺から国分寺崖線を下ったところにありますが、深大寺は現在でも里のお寺という感じが漂っています。夜には蕎麦屋の明かりも消え、静かな谷の里に戻ります。今年お寺で話題になったものに鐘の代替わりがありました。古い鐘は永和2年(1376)の年記があることで知られ、国の重要文化財に指定されていました。江戸時代には川崎まで鐘の音が聞こえるほどの名鐘でしたが、寄る年波には勝てず最後は内側からの裂傷により、音色がほとんど響かない状態でした。しばらくダミーの鐘が撞き鳴らされていましたが、深大寺の鐘として铸造された鐘が今では鳴り響いています。ダミーの鐘の方が新しい鐘より良かったとの声も聞かれますが、新しい鐘の方が柔らかい響きがあり良いと思っています。大晦日には里に響く鐘の音を聞きながら、過ぎ行く年を送り、新しい年を迎えたいと思います。



深大寺の鐘

## 参加しませんか？

### ● 環境モニター「野鳥調査」

日 時：1月14日（月・祝日）13:00～  
集合場所：野草園前（要申込み）  
対 象：環境モニター、ニュースレター配布対象者  
野草園からかに山、佐須の水田を通り、野川・箕和田橋まで歩きながら、野鳥調査を行います。また、調査終了後、連絡会を兼ねた新年会を実施します。

### ● 雑木林塾（第4回）（連続講座 全6回）

日 時：1月20日（日）10:00～16:00  
場 所：たづくり1002 学習室  
持ち物：筆記用具等  
人と自然の付き合い方、自然への接し方を考え、雑木林を維持することで育まれてきた生き物について学びます。

### ● 入間・樹林の会「現地管理作業②」

日 時：1月27日（日）10:00～12:00  
集合場所：入間地域福祉センター  
（場所のわからない方は仙川駅前 9:30 集合）  
持ち物：軍手、タオル等

現地で管理作業を行います。動きやすい服装でお越し下さい。作業の進み具合によっては午後に及びこともあります。

### ● 環境市民懇談会「全体会」

日 時：2月23日（土）午後  
場 所：たづくり12階 大会議室  
詳細は次号でお知らせします。

※お問合せ・申込みは、環境部環境保全課まで

## その他の情報

### ■ふれあい教室（府中市郷土の森博物館内）

● たまりバーアート「多摩川の草木で凧づくり！」  
多摩川の草木を使った凧をあげてみましょう。  
日 時：1月12日（土）13:00～15:00  
参加費：100円（郷土の森入園料別途必要）  
場 所：郷土の森園内 ふるさと体験館  
（先着30名・当日受け付け）

● 定例多摩川観察会「草木はどうやって冬をこすの？」  
河原の植物の冬の様子を観察しましょう。植物が冬を越すためのいろいろな工夫を観察しよう。  
日 時：1月27日（日）13:00～15:00  
参加費：100円（郷土の森入園料別途必要）  
場 所：旧尋常高等小学校前集合→多摩川  
要事前申込み 定員30名 雨天時は室内にて  
《お申込み、お問合せ》  
多摩川センター TEL. 042-326-5135  
多摩川ふれあい教室 TEL. 042-368-7979

### ■ 現代 雑木林事典

ヒトと雑木林の新しい関係に注目、遊び・学校林・環境教育・木を伐る・公園ボランティア・里山ピオトープ etc. 市民ボランティアのための初の雑木林百科!! A5判 344頁 定価2,600円（本体）  
《お問合せ先》 百水社（発行）  
TEL0426-45-8946 FAX. 0426-46-2518

### ■ オークライフ

ネイチャー・ボードシリーズ第1弾として「オークライフ」が発売されました。オークとは、どんぐりを実らせるナラの木のこと。1本のナラの木を中心にくり広げられる、生き物たちの「食う・食われる」の関係や季節によるうつり変わりを、ゲームを通して体験しよう！環境学習の教材として、自然観察の導入としておすすめ  
《お申込み、お問合せ》 有限会社コピス  
TEL. 03-5450-2160 FAX. 03-5450-3701  
ホームページ：http://www2.tky.3web.ne.jp/~coppice

### ■ メーリングリストを立ち上げました！ ■

● ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交流を行うためにメーリングリストを立ち上げました。  
● お問合せは尾辻（kp5y-otj@asahi-net.or.jp）まで。

● ニュースレターが調布市のホームページでご覧になれます。  
<http://www.city.chofu.tokyo.jp/yokoso/inform/kankyo/kankyof.htm>  
または、調布市のホームページから【おしながき】→【環境】

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。

### 発行：ちょうふ環境市民懇談会

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。